

つくば教会だより 2020年12月号

編集:カトリックつくば教会 〒305-0834 茨城県つくば市手代木 261-6

TEL 029-836-1723 FAX 029-836-4136

ホームページ <http://www1.accsnet.ne.jp/~mikokoro/>

「クリスマス・・・教会の”冬“を乗り越えて」

みなさま き おも どうじ かさ
皆様もお気づきかと思いますが、クリスマスはほぼ冬至の日と重なっています。
どうじ きたはんきゅう もっと みじか たいよう ちから もっと よわ
冬至は北半球では一年で最も日が短い日、つまり太陽の力が最も弱くな
る日です。しかしながら、冬至はこの日を境に太陽が勢いを増す方向に転じる
日、つまり、太陽が復活する日でもあります。その意味で、クリスマスはイースタ
ーと同様「復活」の日であり、「義の太陽」であるイエス・キリストの誕生日に相応
しい日であると言えます。

もんだい ことし わたし きょうかいきょうどうたい おお しれん ねん
コロナウイルス問題のため、今年は私たちが教会共同体にとって大きな試練の年
でした。まず、約半年の間、私たちはミサにあずかることができませんでした。よ
うやくミサが再開されつつありますが、依然として様々な制約のもとにあります。「三
密」を避けるための人数制限、ミサに集まっても感染を避けるため、交流を暖める
ための会話を交わすこともそこそこに帰宅しなければなりません。クリスマスミサ
も、出席者を予約・抽選によって絞らなければならない状況です。本来であれば、
ひごろきょうかい とお かた なに あら きょうかい おとずれ
日頃教会から遠ざかっている方、そして、何よりも新たに教会を訪れてみようと思
われている方を共同体に迎えるための絶好の機会なのですが……。

しかしながら、こうした共同体としての試練は、私たちにとって「冬至」であり、
この試練を乗り越えることで、共同体としての新たな復活と発展の機とできるの
はないでしょうか。一致してこの試練を乗り越えるための証しとして、今回は共同体
としての信徒会がこの「巻頭言」を執筆させていただきました。教会共同体一同で、
とくべつ いみ も ことし いわ おも
特別な意味を持った今年のクリスマスを祝いたいと思います。

きょうかいしんとかいかいちょう
カトリックつくば教会信徒会会長

くわばら なおき
桑原 直己

■信徒会より

◇クリスマス日本語ミサの参加希望者の抽選結果

クリスマス日本語ミサ参加希望用紙を 11/22 (日) のミサ終了時まで提出いただき、役員会のメンバーによって抽選が実施されました。ミサ参加当選者の番号を右欄に示しましたので、当日は番号が記入された申込用紙を持参してミサに参加願います。なお、ミサ参加可能人数には制限があり、当選番号をお持ちでない信徒はクリスマスミサへの参加できませんので、ご容赦ください。

ミサ日時	当選番号
12/24(木) 19:00	11, 17, 19, 23, 25, 26, 32, 35, 36, 37, 71, 74, 75, 79, 81, 87, 88, 89, 91, 94, 97, 98
12/25(金) 10:30	2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 21, 27, 28, 30, 34, 72, 73, 76, 78, 80, 84, 86, 90, 92, 93, 95, 96

◇平日の日本語ミサの再開について

平日の日本語ミサは 12 月の第 1、第 3 金曜日の 10 時から再開することになりました。典礼当番の決定さらには消毒、体温測定、ミサ参列者記入表などの管理は、全て信徒の皆さんのボランティアによって行われます。ミサに参加される信徒の皆さんのご協力をよろしくお願い申し上げます。

◇次期信徒会会長推薦のアンケート調査結果および 2021 年度信徒総会について

アンケート調査は 11 月 15 日 (日) 締め切られ、即日、アンケートの開票を行いました。その結果、現信徒会長である桑原さんが圧倒的な得票を得ましたので、役員会において、2021 年も桑原直己氏に信徒会長をお願いすることに致しました。

2021 年度の信徒総会は 2021 年 1 月 24 日 (日) 日本語ミサ後に行う予定ですが、コロナウィルス騒動の最中にあると考えられますので、ミサ同様、参加できる信徒の人数も制限した中を行わざるを得ないと考えています。どのように信徒総会を開催するかについては、12 月の役員会で議論し、あらためて教会だより等でお知らせすることに致します。

■各部会より

◇つくば教会会計の現状とお願い

つくば教会小教区会計は信徒からの献金収入で成り立っており、2020 年度予算では教会費 (維持費) 380 万、ミサ献金 540 万、建設献金 220 万、その他献金 110 万円の合計 1,250 万円を計画していました。

新型コロナウイルスの流行とそれに伴った長期にわたるミサ中止により、献金収入が激減しており、1 月～10 月までの 10 ヶ月で教会費 250 万、ミサ献金 110 万、建設献金 160 万、その他 150 万の合計 670 万円であり、現時点では計画の 50% 強の収入しかありません。

一方、年間支出は、聖心会への納付金や教区費が予算通りの 600 万、宣教司牧費と事務運営費の合計は 300 万程度の見込みで、合計 900 万円程度です。収入減に伴って、支出の圧縮に努めましたが、納付金や教区費、水道光熱費や地代のように固定的な支出が多く、十分な規模には至っていません。11 月と 12 月の献金額で赤字幅が決まると言えます。

コロナ渦の中にあって家計が苦しい方も多いと思いますが、会計の現状をご賢察の上、ミサ献金の大幅な減額を少しでも補えるよう、無理の無い範囲で、12 月に教会維持費の納入および一般献金をご検討いただけますと幸いです。(会計部・歳森)

■信徒動静

◇転出 庄司 壽一 (ひさかず) さんが、札幌教区北 26 条教会へ転出されました。

◇転入 山里 紀久子さんが東京教区小平教会から転入されました。どうぞよろしく。

◇帰天 マリア・テレジア小原 (おはら) 美智子さんが 11 月 3 日帰天されました。小原美智子さんの永遠の安らぎと残されたご家族の平安をお祈りください。

◇山田神父様金祝の記念誌のための原稿募集について◇

金祝実行委員会では、山田神父様金祝の記念誌に掲載するために、司教様および聖心会管区長さらには山田神父様の過去に赴任した教会からの寄稿をお願いしております。

山田神父様は2015年4月21日につくば教会に赴任されてから約5年間もの長期に亘り主任司祭としてお世話になっており、神父様との思い出などについて、信徒の皆様からも寄稿いただくことに致しました。

寄稿文の文字数は800字以内で、提出は自筆のものでも電子データのどちらでも受け付けます。締め切りは2021年1月24日(日)ミサ後までとしますので、多くの信徒の皆様のご投稿を期待しております。なお、自筆で投稿のものは、聖堂入口に用意した木箱にお入れください。また、電子データでの投稿は下記のメールアドレスまでお送りください。tsukubacatholicch@gmail.com

2020年12月 典礼当番表

	12/20	12/27
聖体奉仕者	有田 圭介 浜口 景子	石澤 通 歳森 敦
案内係	中島 恵	渡辺 基信
先唱	歳森 敦	加藤 良子

2020年クリスマス&2021年元旦 典礼当番表

	12/24(木) 19:00	12/25(金) 10:30	2021.1.1(金) 10:30
聖体奉仕者	桑原 直己 小川 千尋	浜口 景子 櫻井 みや子	小川 千尋
案内係	森 彰一郎	市野 百合子	石澤 さと子
先唱	石澤 通	桑原 直己	石澤 通

行事予定表 2020年12月

		ミサ・典礼		学校・会議・講座・勉強会	
日付	曜日	時刻	行事内容	時刻	行事内容
4	金	10:00	日本語ミサ		
6	日	10:30	国際ミサ	ミサ後	クリスマス飾付け(国際部)
13	日	10:30	国際ミサ		
18	金	10:00	日本語ミサ		
19	土	18:00	国際ミサ		
20	日	10:30	日本語ミサ(ア行からサ行まで)	11:30	定例役員会
24	木	19:00 21:00	クリスマス夜半のミサ(日本語ミサ) クリスマス夜半のミサ(国際ミサ)		
25	金	8:00 10:30	クリスマス日中のミサ(国際ミサ) クリスマス日中のミサ(日本語ミサ)		
26	土	18:00	国際ミサ	13:30	教会だより編集会議
27	日	10:30	日本語ミサ(タ行からワ行まで)		
31	木	19:00	国際ミサ		
1/1	金	10:30	新年の日本語ミサ(新成人の祝福)		

1月の予定 ・1/1(元旦)、1/3(日)、1/10(日) 新成人の祝福

・1/3(日) ミサ後 クリスマス飾の取り外し ・1/24 2021年度信徒総会

<日本語ミサ参加におけるお願い>

日本語ミサは月2回の10時30分からの日曜日ミサに加え、12月からは月2回の金曜日10時から平日ミサも再開され、12月にはクリスマスミサも計画されています。

一方、茨城県内においてはコロナウィルス感染者数が過去最大を記録する中、11月22&27日の茨城県知事の記者会見において、①重症化のリスクの高い方（概ね70歳以上の方、基礎疾患のある方など）は外出について慎重に対応すること、②クリスマス、大晦日など大人数の集まる季節行事における感染防止対策の徹底を要請しております。

このような状況下において、日本語ミサの実施に際しても今までと同様にコロナ感染対策を徹底するように、信徒の皆様のご協力をお願い致します。

参加希望の信徒の皆様は、下記の留意事項をご確認の上、ミサにご参加ください。

【ミサへの参加】

- ・ミサ参加への年齢制限はなくなりましたが、高齢な方ほど、あるいは持病のある方ほど、感染時の重症化の恐れがあることには変わりがないと考えられますので、ご心配の方には、「自宅にとどまっ

ての祈り」を続けていただくことをお勧めします。
なお、茨城県の指針では、Stage4になると（現在はStage3）、重症化のリスクの高い方（概ね70歳以上の方、基礎疾患のある方など）は不要不急の外出自粛となり、日本語ミサの実施事態が困難となる可能性も高くなります。

【ミサ参加前】

- ・自宅を出られる前に体温を測定して、ご自身が平熱であることを確認し、できるだけミサ開始の10分前までに着席できるように教会までお出掛けください。なお、アルコール消毒やマスクの着用ができない方は、受付にその旨をお申し出ください。
- ・その後、担当者が参加者リスト記入用紙を配布しますので、聖堂正面のドアからお入りください。ミサ中にはミサ献金のカゴを回しませんので、聖堂入口にミサ献金のカゴおよび一般献金の封筒を置いてありますので、ご活用ください。
- ・聖堂内は「三密対策」を考慮した着席配置に従って、着席ください。

【ミサ中】

- ・ミサ開始直前に先唱者よりミサ中の注意事項についてのアナウンスがありますので、その指示に従ってミサにあずかってください。
- ・ミサ中はマスクを着用し、ソーシャルディスタンス保持するように気を付けてください。
- ・オルガン伴奏もコーラスもありませんし、お祈りも心の中でお唱えください。
- ・ご聖体は神父様および聖体奉仕者からピンセットで手渡されます。
- ・ミサ中には換気のために、一部窓も解放することになりますので、十分な暖がとれるような服装でお出掛けください。

【ミサ後】

- ・ミサ後の退出時には、聖堂正面のドアを使用し、担当者に氏名、電話番号、体温を記入した参加者リストを渡してください。
- ・ミサ後には座席等のアルコールによる消毒作業を行いますので、三密を避けながら、速やかに退出願います。
- ・ミサ後のお茶当番はありませんので、三密を避けてお帰りください。